

八幡木中の生徒「あいうえお」

校長 岸田 健吾

54年目を迎えた八幡木中学校は、1年生150名を迎え、全校生徒485名15学級でスタートします。私は本校校長2年目の岸田健吾（きしだけんご）と申します。伝統を継承し、ますます発展ができますよう、教職員と心をつにし、全力で取り組んでまいります。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

八幡木中の生徒が考えた、八幡木中生徒のよさを表した「あいうえお」を紹介します。（入学式、始業式の式辞より）

「あ」は、「挨拶ができる生徒」です。

お互いにあいさつをすると気持ちがよいです。会話のきっかけにもなります。恥ずかしがらずに、自分から明るいあいさつをしてください。

「い」は、「意欲がある生徒」です。

他には、いい返事、一生懸命、いたわる、いさかいがない、言いたいことを言える、今を楽しむ。どれも意欲いっぱいいいですね。

「う」は、「嘘をつかない生徒」です。

うるさいほど元気、うつむかない、上を向く、うきうき、うれしい、敬う、裏切らない、運が良い。これらも素敵な生徒のよさです。

「え」は、「笑顔があふれる生徒」です。

笑顔一択でした。私もそう思います。

「お」は、「思いやりがある生徒」です。

友達の気持ちを考えて行動し、友達のよいところを認め合う心を持ってください。八幡木中には特別支援学級があります。6組の友達です。学校生活では、行事や授業と一緒に活動・学習をします。お互いに助け合い、認め合ってみんなで八幡木中をより素晴らしい学校にして欲しいと願っています。友達と仲良くするときには心掛けることは、**自分がされて嫌なことは、友達にしない、言わないことです。**

たった一言が人の心をあたためます。子供たちをたくさんほめて育てたいものです。八幡木中学校はこれからも生徒一人一人を大切にし、人間関係を含め豊かな環境づくりを進めていきたいと思っています。